

2019年8月6日

# FY2019(2020年3月期)第1四半期 決算説明会資料

株式会社 島津製作所  
取締役 上席専務執行役員 古澤 宏二

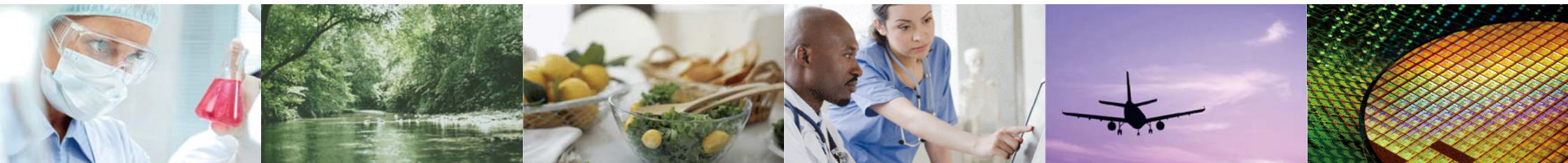
# 内容

- ① F Y 2019 1Q 決算
- ② F Y 2019 1Q セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 補足資料

# 内容

- ① **F Y 2019 1Q 決算**
- ② F Y 2019 1Q セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 補足資料

# 決算ハイライト



前年特需・大口案件の  
反動及び半導体市況の  
低迷により減収減益

- 前年の特需（中国の環境モニタリング装置）、大口案件（計測：ラボ移設など）の反動、半導体市況の低迷などにより減収
- 減収による総利益減、研究開発費増などにより減益

計測の重点機種は好調

- MSが牽引し、計測の重点機種は前同比5%増

\*重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析計（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

# 損益計算書

売上高 808億円（前同差 ▲49億円、前同比▲6%）  
 営業利益 45億円（前同差 ▲13億円、前同比▲22%）

為替影響

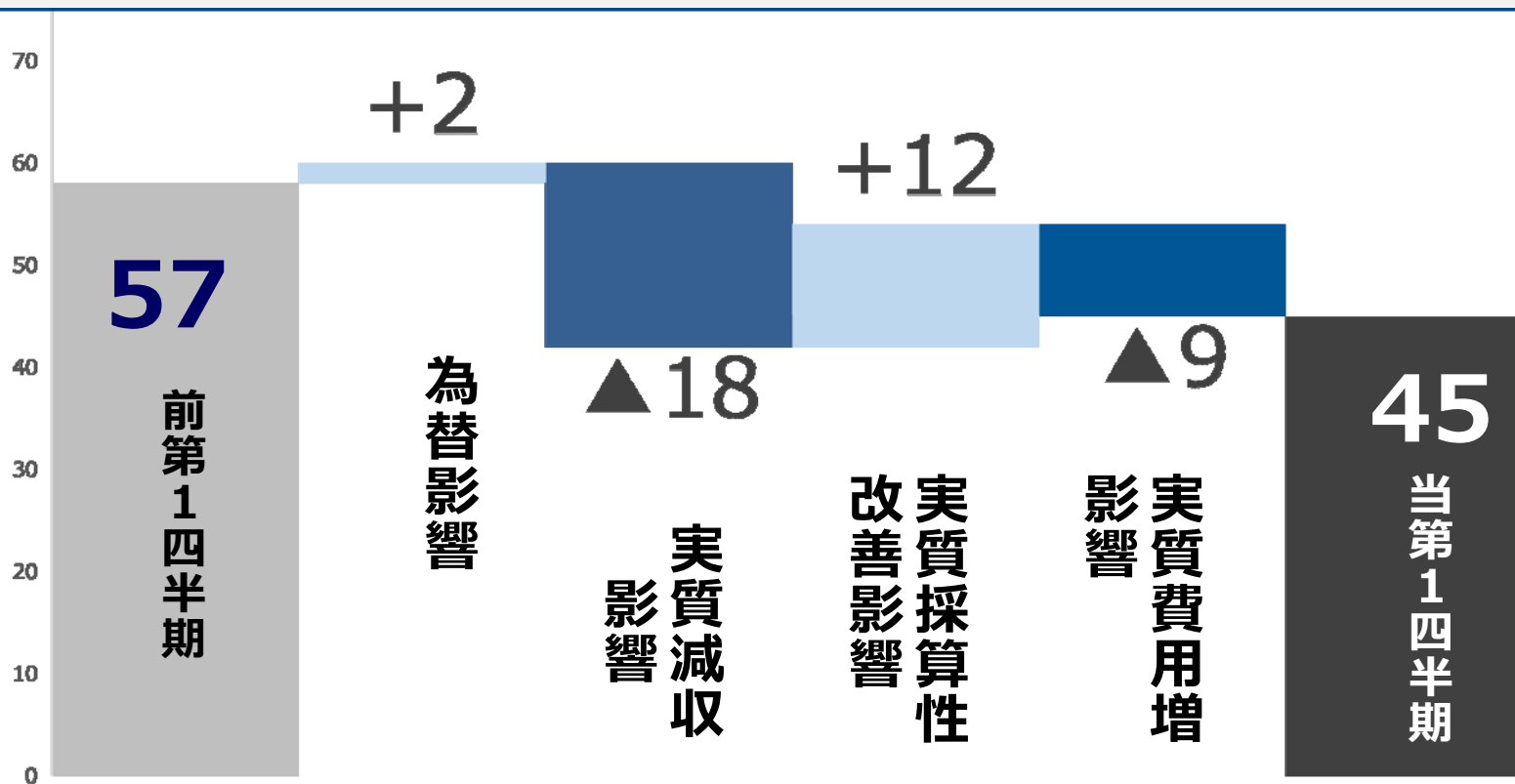
- ・売上高：▲2億円
- ・営業利益：+2億円

	単位：億円	1Q		前同比	
		FY2019	FY2018	差額	増減率
業績	売上高	808	857	▲49	▲6%
	営業利益	45	57	▲13	▲22%
	営業利益率	5.5%	6.7%	▲1.2pt	-
	経常利益	45	66	▲21	▲32%
	親会社株主に帰属する当期純利益	34	44	▲9	▲22%
為替	平均レート：米ドル（円）	110.0	109.1	+0.8	+1%
	ユーロ（円）	123.5	130.1	▲6.6	▲5%
主要投資	研究開発費	46	39	+7	
	設備投資額	34	59	▲26	
	(減価償却費)	33	28	+5	

\* 研究開発費  
製造経費と販管費を合算しています

# 営業利益増益要因

減収影響や費用増により13億円減益



# セグメント別損益

計測：前年特需・大口案件の反動で減収減益

医用：海外が低迷し減収減益

産業：半導体市況低迷によるターボ分子ポンプの減少などにより減収減益

航空：民間航空、防衛ともに増収増益

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2019	FY2018	前同比		FY2019	FY2018	前同比		FY2019	FY2018	前同比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	497	516	▲20	▲4%	49	57	▲8	▲14%	9.9%	11.0%	▲1.1pt
医用	134	142	▲8	▲6%	▲5	▲1	▲4	-	-3.8%	-0.9%	▲3.0pt
産業	93	119	▲26	▲22%	4	11	▲7	▲64%	4.3%	9.4%	▲5.1pt
航空	66	55	+11	+19%	▲1	▲6	+4	-	-2.2%	-10.1%	+8.0pt
その他	19	24	▲6	▲23%	3	2	+2	+106%	15.2%	6.0%	+9.2pt
調整額					▲5	▲5	+0	-			
合計	808	857	▲49	▲6%	45	57	▲13	▲22%	5.5%	6.7%	▲1.2pt

- ① F Y 2019 1Q 決算
- ② **F Y 2019 1Q セグメント別業績**
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 補足資料

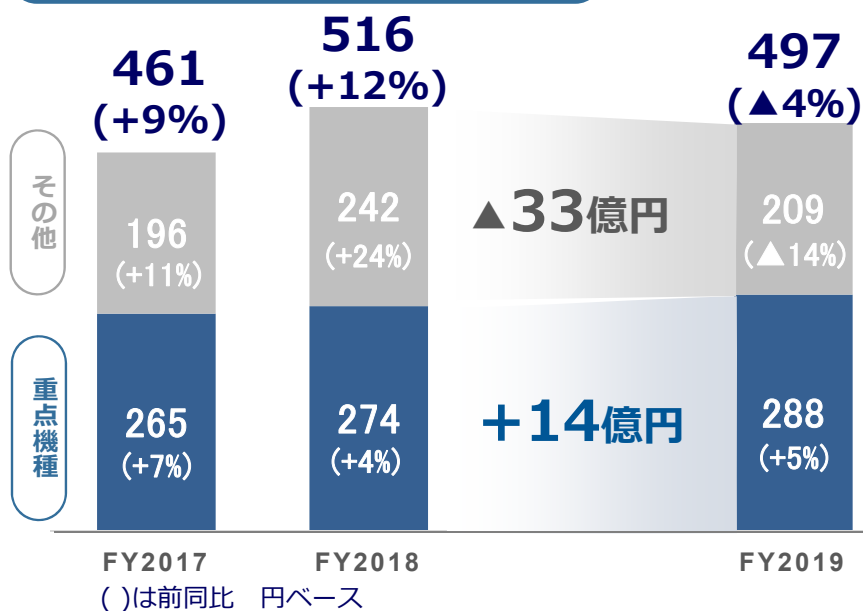


# 計測機器/サブセグメント売上高

**重点機種\*** 288億円：MSが牽引し+14億円（+5%）  
**その他機種** 209億円：前年特需・大口案件の反動などで▲33億円（▲14%）  
**AM\*売上** 168億円：+6億円(+3%) AM比率34%：+2ポイント

\*重点機種：液体クロマトグラフ（LC）  
 質量分析計（MS）  
 ガスクロマトグラフ（GC）  
 \*AM=アフターマーケット

計測機器 売上高 推移（億円）



環境が前年中国の水質モニタリングの特需の反動で大幅減

その他（主な製品）



MSは大学研究機関向けなどに好調、LCは堅調、GCは停滞

重点機種（主な製品）



# 計測機器/地域別売上高

日本：前年の大口案件の反動で▲12%

海外：中国は前年の環境モニタリング特需の反動で▲8%だったが、その他アジア、北米が好調

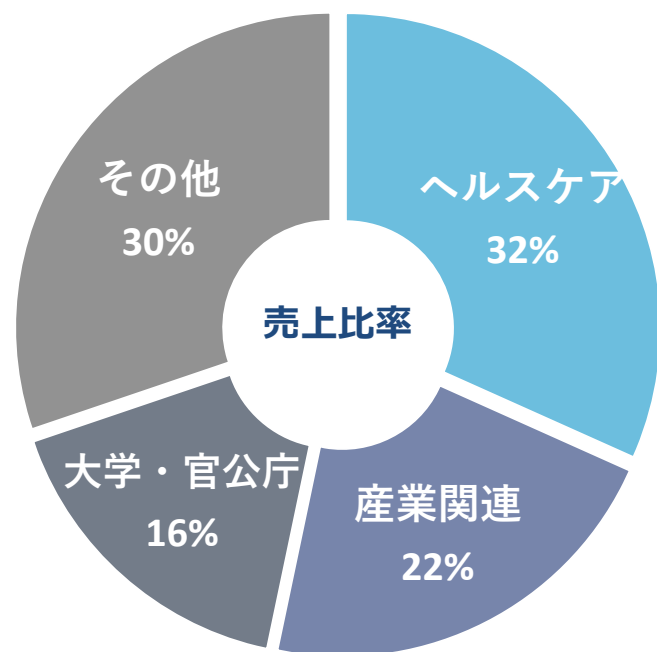
海外売上高比率 66%：日本の売上が前同比▲12%、海外売上前同比+1%となり3ポイント増加

	FY2019	FY2018	増減額	増減率	為替影響 除く	概況
日本	169	193	▲24	▲12%	▲12%	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点機種は増収</li> <li>前年の大口案件の反動</li> </ul>
北米	58	55	+3	+5%	+4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>カナビス市場向け好調</li> </ul>
欧州	54	56	▲2	▲4%	+1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年食品向け大口案件の反動あり</li> <li>臨床分野、受託分析市場は堅調</li> </ul>
中国	124	134	▲10	▲7%	▲8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境モニタリング装置が大幅減</li> <li>米中貿易摩擦の影響により、電子・電機向け減少</li> <li>大学・研究機関向けなどにMSが好調</li> </ul>
その他 アジア	67	56	+11	+20%	+19%	<ul style="list-style-type: none"> <li>インド：受託分析向けなどが好調で回復基調となり+11%</li> <li>東南アジア：製薬向け、環境対応規制向けに重点機種が好調で+16%</li> </ul>

# 計測機器/市場別売上高比率

大学は中国で好調。ヘルスケアは受託分析向けが停滞、産業関連は米中貿易摩擦の影響を受ける

## 市場別売上構成比

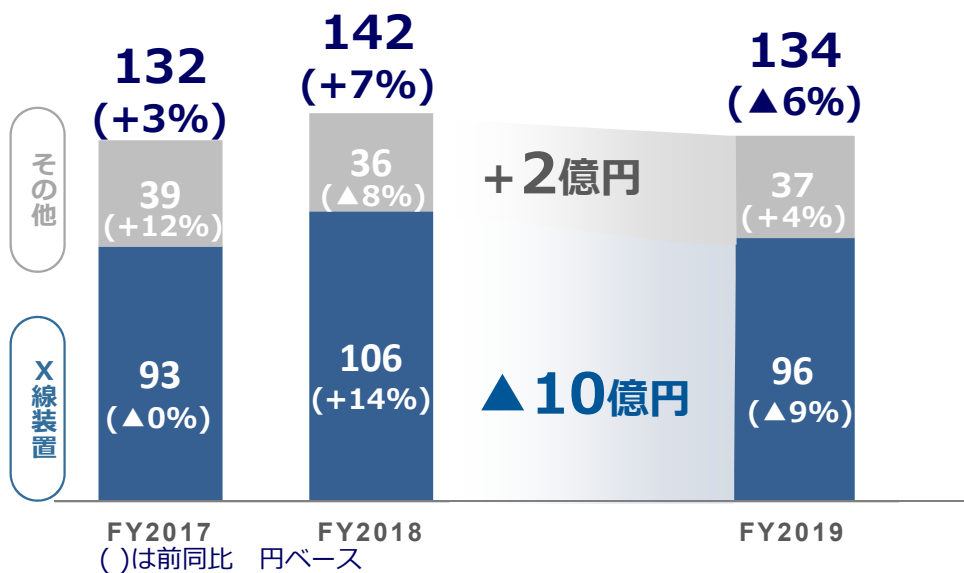


市場と主な業界	売上高前同比	概況
ヘルスケア <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医薬・食品</li> <li>● 医療機関</li> <li>● 受託分析業</li> </ul>	▲ 4%	受託分析向けが停滞
産業関連 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 化学・素材</li> <li>● 電機</li> <li>● 自動車</li> </ul>	▲ 3%	米中貿易摩擦の影響
大学・官公庁	+ 11%	中国で大学関連好調

# 医用機器/サブセグメント売上高

**X線装置** 96億円：血管撮影システムは好調だが、X線撮影、X線TVが減収となり▲10億円（▲9%）  
**その他** 37億円：日本で診療所向け製品伸長 +2億円（+4%）  
**AM\*売上** 47億円：+2億円（+5%） AM比率35%：+4ポイント \*AM=アフターマーケット

医用機器 売上高 推移（億円）



血管撮影は好調。X線撮影・X線TVは米国・中国の市場環境が厳しく減収

**X線装置（主な製品）**



一般撮影システム



回診用装置



血管撮影システム



X線TVシステム

# 医用機器/地域別売上高

日本：積極的な営業施策で診療所向けが好調に推移

海外：北米、中国の需要低迷が継続

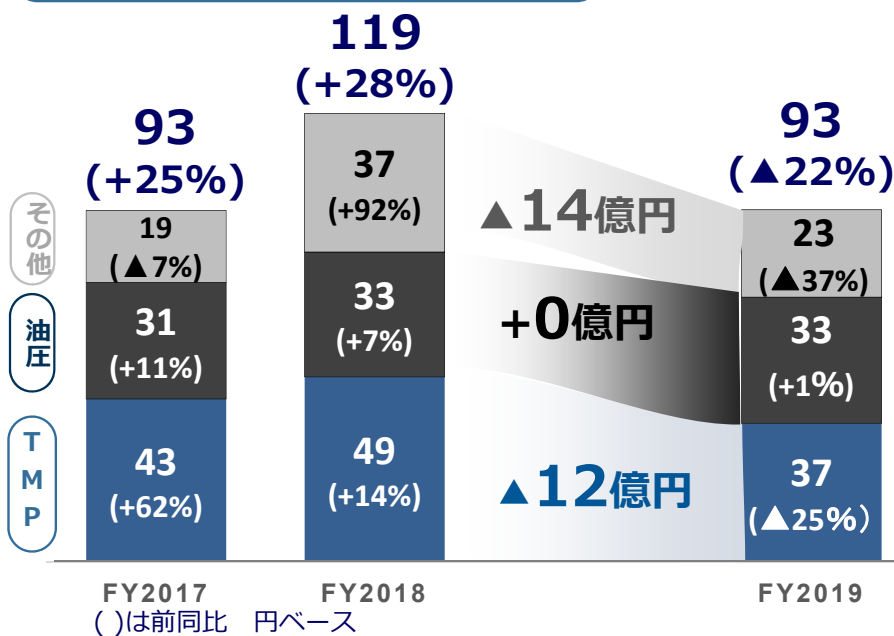
海外売上高比率 40%：日本の売上が前同比+6%、海外売上前同比▲20%となり、7ポイント低下

	FY2019	FY2018	増減額	増減率	為替影響 除く	概況
日本	81	76	+5	+6%	+6%	・ X線装置全てが増収。
北米	17	23	▲5	▲23%	▲24%	・ デジタル化促進施策の反動による需要低迷が継続
欧州	7	10	▲3	▲29%	▲26%	・ 前年東欧での大口案件の反動
中国	8	11	▲4	▲32%	▲33%	・ 国産品優遇による影響、地方政府債務増大による設備投資減 ・ 入札遅延などにより減収
その他 アジア	10	11	▲1	▲7%	▲8%	・ 血管撮影システムは増収となったものの、X線TVが減収

# 産業機器/サブセグメント別売上高

**TMP** 37億円：半導体市場低迷などにより▲12億円（▲25%）  
**油圧** 33億円：中国市場のマイナスを堅調な日本市場が補い微増  
**その他** 23億円：中国設備投資減影響でガラスワインダ減収などにより▲14億円（▲37%）  
**AM (TMP)売上** 8億円：+1億円(+13%)      **AM比率22%**：+7ポイント

産業機器 売上高 推移 (億円)



中国設備投資減少に伴いガラスワインダ減収



真空熱処理炉



ガラスワインダ



高速スパッタリング装置

半導体市場やFPDの低迷を受け減収



ターボ分子ポンプ

中国のマイナスを堅調な日本がカバー

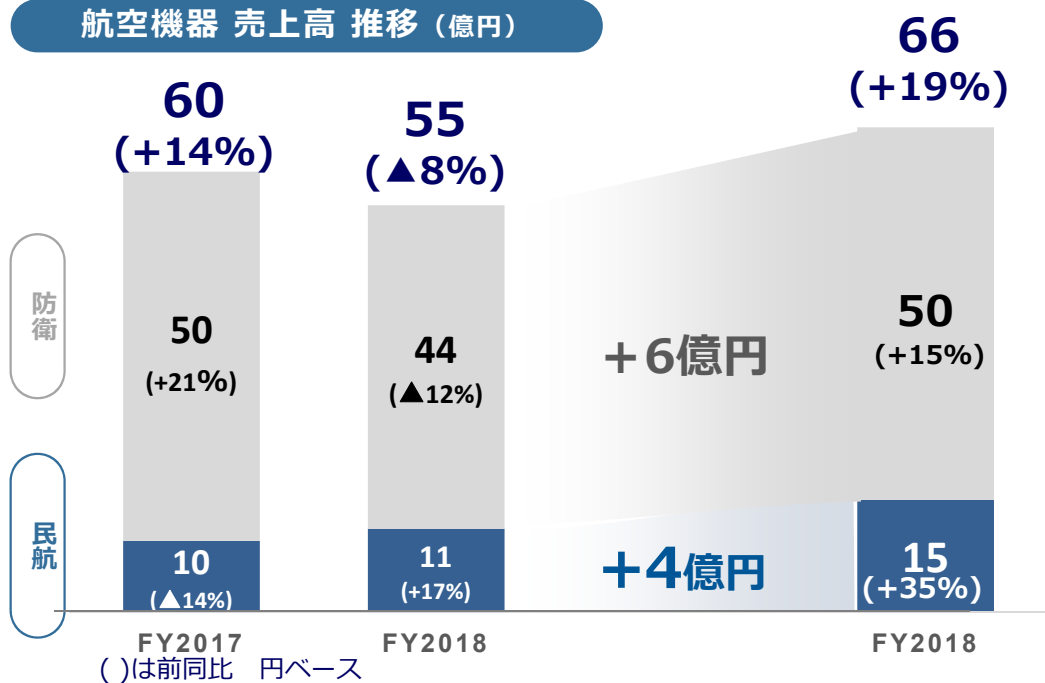


油圧ギアポンプ

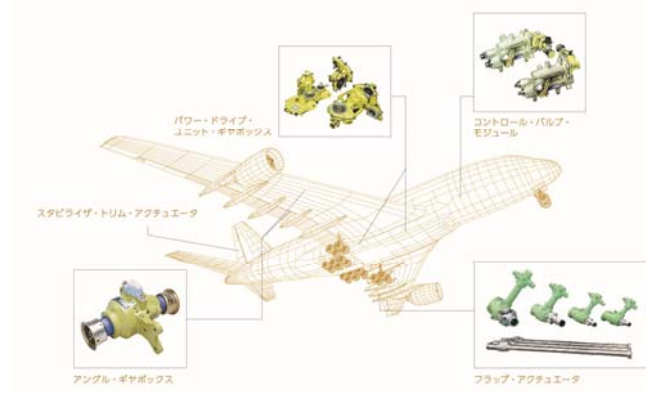
# 航空機器

**民航 15億円**：新規採用の部品（ギヤボックスなど）が貢献し **+4億円（+35%）**  
**防衛 50億円**：輸送機（C-2）向けなどが増加し **+6億円（+15%）**

航空機器 売上高 推移（億円）



- **防衛**  
輸送機向けなどが増加
- **民間航空**  
新規採用部品などが貢献



- ① F Y 2019 1Q 決算
- ② F Y 2019 1Q セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想**
- ④ 補足資料



# FY2019 通期予想

		通期		前期比			
単位：億円		FY2019	FY2018	差額	増減率	除為替影響	
業績	売上高	4,100	3,912	+188	+5%	+276	+7%
	営業利益	470	445	+25	+6%	+55	+12%
	営業利益率	11.5%	11.4%	+0.1pt	-		
	経常利益	470	455	+15	+3%		
	親会社株主に帰属する当期純利益	340	325	+15	+5%		
為替	平均レート：米ドル（円）	105.0	111.0	▲ 6.0	▲5.4%		
	ユーロ（円）	120.0	128.4	▲ 8.4	▲6.6%		
主要投資	研究開発費	190	166	+24			
	設備投資額	240	217	+23			
	(減価償却費)	130	115	+15			

\* 研究開発費  
製造経費と販管費を合算しています

# FY2019 通期予想 (セグメント別)

単位: 億円	売上				営業利益				営業利益率		
	FY2019 計画	FY2018	前期比		FY2019 計画	FY2018	前期比		FY2019 計画	FY2018	前期比 増減
			差額	増減率			差額	増減率			
計測	2,565	2,414	+151	+6%	415	388	+27	+7%	16.2%	16.1%	+0.1pt
医用	720	691	+29	+4%	29	23	+6	+25%	4.0%	3.4%	+0.7pt
産業	480	454	+26	+6%	49	45	+4	+10%	10.2%	9.8%	+0.4pt
航空	285	273	+12	+4%	7	1	+6	+488%	2.5%	0.4%	+2.0pt
その他	50	80	▲ 30	▲37%	7	14	▲ 7	▲49%	14.0%	17.3%	▲3.3pt
調整額					▲ 37	▲ 26	▲ 11				
合計	4,100	3,912	+188	+5%	470	445	+25	+6%	11.5%	11.4%	+0.1pt

- ① F Y 2019 1Q 決算
- ② F Y 2019 1Q セグメント別業績
- ③ F Y 2019 通期予想
- ④ 補足資料**

## 計測機器/重点機種前同比

	FY2017				FY2018				FY2019
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
全体	+7%	+8%	+9%	+10%	+12%	+3%	+3%	+2%	▲4%
重点機種	+5%	+12%	+5%	+13%	+4%	+0%	+8%	+2%	+5%

重点機種：LC、MS、GC

\* 為替影響を除いています

## 計測機器/地域別売上高前同比

国	FY2017				FY2018				FY2019
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	+11%	+1%	+15%	+8%	+15%	▲1%	▲4%	▲1%	▲12%
北米	▲9%	+7%	+11%	+30%	+17%	+14%	+9%	+3%	+4%
欧州	+9%	+8%	▲7%	▲7%	+11%	+7%	+19%	+8%	+1%
中国	+14%	+20%	+13%	+14%	+10%	+6%	+3%	+9%	▲8%
その他アジア	▲7%	+9%	▲8%	+13%	▲2%	▲1%	+13%	▲2%	+19%
インド	▲10%	+24%	▲7%	+21%	+6%	▲7%	+4%	▲9%	+11%

\*インドはその他アジアの内数です

\*為替影響を除いています

## 医用機器/地域別売上高前同比

国	FY2017				FY2018				FY2019
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
日本	+9%	+0%	+1%	▲11%	▲1%	+16%	+19%	+6%	+6%
北米	+2%	▲9%	+10%	+19%	+17%	▲3%	▲33%	▲24%	▲24%
欧州	▲51%	▲3%	+75%	+96%	+190%	+31%	+22%	▲1%	▲26%
中国	▲1%	+3%	+22%	▲7%	+1%	▲14%	▲5%	▲15%	▲33%
その他アジア	+22%	+34%	▲8%	+24%	+11%	▲2%	+45%	▲28%	▲8%

\* 為替影響を除いています

# 産業機器/機種別売上高前同比

	FY2017				FY2018				FY2019
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
<b>TMP</b>	+59%	+34%	+30%	+16%	+14%	+0%	▲15%	▲29%	▲25%
<b>油圧</b>	+11%	+9%	+15%	+7%	+6%	+1%	+4%	+1%	+2%
<b>その他</b>	▲7%	+13%	+20%	+37%	+92%	▲9%	▲1%	+36%	▲37%

\* 為替影響を除いています

# アフターマーケット(AM)比率

## 計測

	FY2017				FY2018				FY2019
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
AM売上前同比	+10%	+14%	+8%	+6%	+18%	+14%	+15%	+11%	+3%
AM比率	30%	27%	28%	27%	31%	31%	31%	29%	34%

## 医用

	FY2017				FY2018				FY2019
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
AM売上前同比	+2%	+6%	+1%	+2%	+4%	▲2%	+5%	+2%	+5%
AM比率	33%	31%	31%	28%	32%	29%	30%	29%	35%

## TMP

	FY2017				FY2018				FY2019
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
AM売上前同比	▲0%	+37%	+52%	+39%	+49%	+31%	+26%	+19%	+13%
AM比率	11%	14%	13%	14%	14%	18%	20%	24%	22%





本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所  
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ  
電話：075-823-1673 E-Mail：[ir@group.shimadzu.co.jp](mailto:ir@group.shimadzu.co.jp)